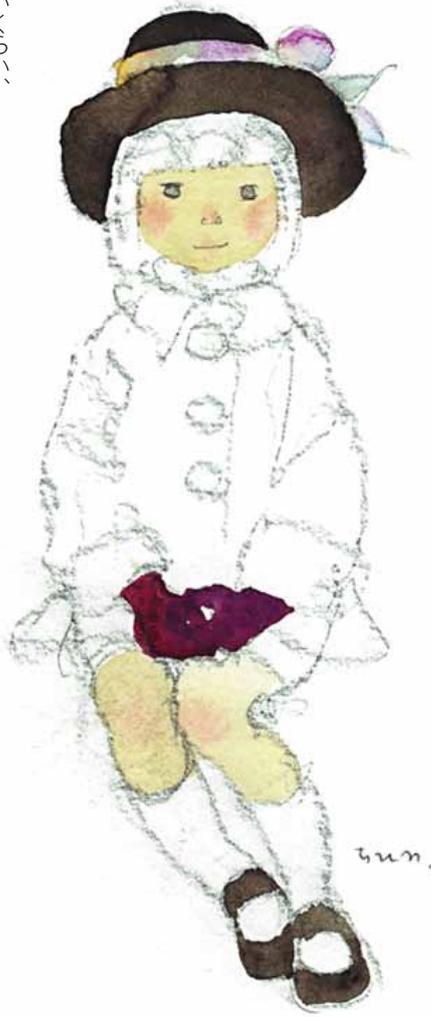




「トットちゃん、君は、本当は、いい子なんだよ」

(本当は、いい子なんだよより)

トットちゃんの一生を
決定したのかも知れないくらい、
大切なこの言葉を、トットちゃんが、トモエに
小林先生は、いい続けてくれたのだった。



I-1, こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半

展覧会名：ちひろ没後40年 絵本になった！『窓ぎわのトットちゃん』展

会期：2013年3月1日(土)～5月13日(火)

○開館時間＝9:00～17:00 (GWは～18:00)

○休館日＝第2・4水曜日 (GWは無休)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

料金：大人800円／高校生以下無料

※団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き ※障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料 ※視覚障害のある方は無料※年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

ちひろ没後40年

絵本になった！

『窓ぎわのトットちゃん』展

3月1日(土)～5月13日(火)

世界中で愛されるあの『窓ぎわのトットちゃん』が
絵本になって再出版されます

戦時中も独創的な教育方針を貫いたトモエ学園での小学校生活を中心に、黒柳徹子(当館館長)が自身の子ども時代のことを書いた『窓ぎわのトットちゃん』。ちひろの没後に出版された本ですが、「いつも子供の味方、子供の幸福を願っていた、ちひろさんの絵を、このトモエの本を書くときに使わせて頂きたい」という黒柳の強い希望で、遺された絵からトットちゃんや友だちの絵が選ばれました。1981年に単行本として出版された本作は、戦後最大のベストセラーになり、現在も世界各国で読みつがれています。

ちひろの没後40年を迎える今年、『窓ぎわのトットちゃん』が、いわさきちひろの絵がたくさん入った絵本となって新たに出版されます。本展では、黒柳徹子のことばとともに、絵本や単行本、初出の雑誌に掲載された作品を含め、約80点のちひろの作品を紹介します。



(上) I-2, 垣根ごしにのぞく子ども 『となりにきたこ』(至光社)より 1970年

(下) I-3, このあしたん 1969年

展覧会の見どころ：子どもから大人まで楽しめる“絵本”

ちひろの没後40年となる今年、絵本『窓ぎわのトットちゃん』が講談社より上下巻で出版されます。最新作である絵本、初出の雑誌「若い女性」(1979年から2年間連載)、単行本に掲載されている作品を、カットなども含めて多数紹介します。

トットちゃんとトモエ学園の魅力を再発見！

小学校を1年生で退学になってしまったトットちゃん。新しく入学したトモエ学園では、小林宗作校長先生や大人たちの温かいまなざしのなかで、いきいきと成長していきます。トットちゃんのユニークな個性や、トモエ学園でのエピソードを、資料や写真も交え紹介します。

トットちゃんとちひろ、響き合う2人の世界

ちひろの没後、企画、出版された本書ですが、ちひろの描いた子どもたちは、トットちゃんや、友だちの豊かな個性を余すところなく伝えています。大人になって子どもどもの感性を大切にしながら、子どもへの心に寄り添う二人の世界は、物語のなかで響き合っています。

出展作品数：約80点

- 主な出展作品：・こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半
・バラと少女 1966年
・『となりにきたこ』(至光社)より 1970年 ほか

関連イベント：●『窓ぎわのトットちゃん』朗読会

読み手：abn長野朝日放送アナウンサー 蔵田玲子

日時：4月20日(日)14:00～15:00

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー

申し込み：要予約 (HP、TEL.0261-62-0772にて)

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展覧会の見どころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金：無料(入館料のみ) 申込：参加自由

関連書籍：絵本『窓ぎわのトットちゃん』(講談社) 2014年4月刊行予定

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。



I-6, バラと少女 1966年

トットちゃんには、ママの腕の中に、とびこんで来て、いった。「ねえ、今度の学校に、いいチンドン屋さん、来るかな？」とにかく、そんなわけで、トットちゃんとママは、新しい学校にむかって、歩いているのだった。

(『窓ぎわのトットちゃん』より)



I-4, 教室の席に座る子ども 1966年



I-5, 十五夜 1972年

「電車が来るの、夜、うんと遅くたって。でも、どうしても見たい人は、一回、家に帰って、家の人に聞いて、「いい」といわれたら、パジャマと、毛布を持って晩御飯たべてから、学校にいらっしやいって！」

(『電車が来る』より)



ちひろ美術館コレクション 絵本・のりもの博覧会

3月1日(土)～5月13日(火)

絵本の乗り物、大集合！

電車、自動車、飛行機、船……。絵本のなかには、たくさんの乗り物が登場します。ときには、魔法のじゅうたんのよう、実際には存在しない乗り物も。

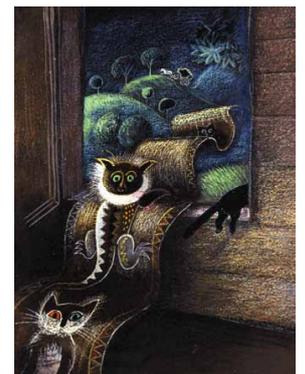
本展では、ちひろ美術館コレクションより、“乗り物”に焦点をあて、「陸の乗り物」「空の乗り物」「海の乗り物」をテーマに、作品を紹介します。世界各国の絵本画家たちが描いた、魅力あふれる“乗り物”の数々をお楽しみください。



II-1, 井上洋介(日本) 『でんしゃえほん』(ビリケン出版)より 2000年



II-2, タ・ヒー・ロン(ベトナム) 『姫君と望遠鏡』より 2008年



II-3, ユゼフ・ヴィルコン(ポーランド) 『魔法の森』より 1985年



II-4, マーチン&アリス・プロベンセン(アメリカ) 『スティーヴンソンのおかしなふねのたび』より 1987年頃

展覧会名：ちひろ美術館コレクション 絵本・のりもの博覧会

会期：2014年3月1日(土)～5月13日(火)

○開館時間＝9:00～17:00 (GWは～18:00)

○休館日＝第2・4水曜日(GWは無休)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

料金：大人800円／高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き※障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料※視覚障害のある方は無料※年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

展覧会のみどころ：絵本に登場する乗り物が、一堂に会する博覧会

日常生活でなじみのある、電車や自動車。クレーン車やタンカーなどの働く車。時代とともに姿を消した牛車や駕籠^{いすかご}。地域性が見られるイタリア・ヴェネチアのゴンドラなど……。本展では、絵本のなかの多種多様な乗り物を紹介します。

絵本ならではの乗り物が楽しめる！

魔法のじゅうたんやハンドル付きの雲、竜やペガサスなど、現実には存在しない、想像上の乗り物(?)が登場するのも本展のみどころです。絵本ならではの自由な発想をお楽しみください。

出展作品数：約80点

出展作家：井上洋介(日本) 『でんしゃえほん』(ピリケン出版)より 2000年
 西村繁男(日本) 『がたごとがたごと』(童心社)より 1999年
 シン・ドンジュン(韓国) 『地下鉄は走ってくる』より 2003年
 マーチン&アリス・プロベンセン(アメリカ) 『スティーヴンソンのおかしなふねのたび』より 1987年頃
 タ・ヒー・ロン(ベトナム) 『姫君と望遠鏡』より 2008年
 ユゼフ・ヴィルコン(ポーランド) 『魔法の森』より 1985年 ほか

関連イベント：ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展覧会の見どころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

料金：無料(入館料のみ)

申込：参加自由

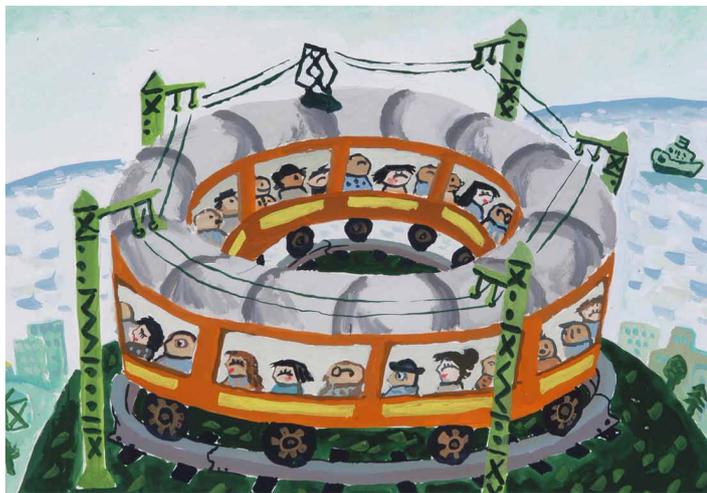
図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



II-5, 井上洋介(日本) 『でんしゃえほん』(ピリケン出版)より 2000年



II-6, 西村繁男(日本) 『がたごとがたごと』(童心社)より 1999年

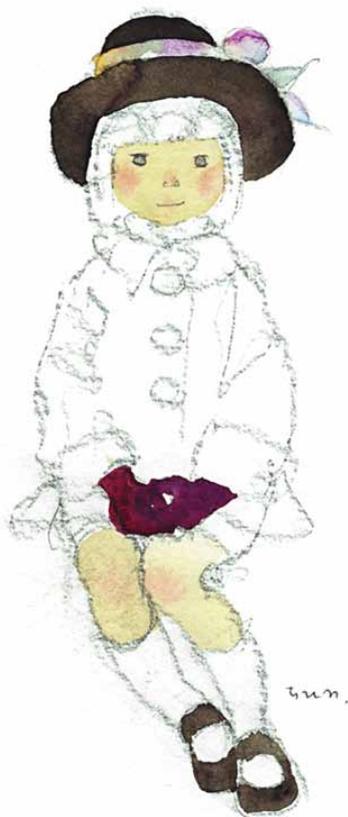


II-7, シン・ドンジュン(韓国) 『地下鉄は走ってくる』より 2003年

2014年は、いわさきちひろ没後40年

1974年に55歳の若さで亡くなった絵本画家・いわさきちひろ。ちひろ没後40年の今年は、記念展を4本開催し、「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」と願い、描き続けたちひろが、作品に込めた思いを紹介します。

あの『窓ぎわのトットちゃん』が絵本に！



当館館長・黒柳徹子の自伝的エッセイ『窓ぎわのトットちゃん』。世界中で愛されるこの物語が、今春、絵本として生まれ変わります。3月1日(土)～5月13日(火)には、トットちゃんの魅力に迫る展覧会を開催。懐かしいトットちゃんの仲間たちに出会えます。

この機会をお見逃しなく！

(詳細はちひろ展紹介をご覧ください。)



展示関連イベント

『窓ぎわのトットちゃん』朗読会

読み手：abn長野朝日放送アナウンサー 蔵田玲子

日時：4月20日(日) 14:00～15:00

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー

申し込み：要予約(HP、TEL.0261-62-0772にて)

4/20
(日)

(図版)こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半

3月16日(日) 入館無料感謝デー

日ごろの感謝を込めて、この日はどなたでも入館無料でお楽しみいただけます。ワンドリンクサービスやイベントも盛りだくさんの1日です。

日時：3月16日(日) 9:00～17:00

4月19日(土) 開館記念日

16回目の開館記念日です。この日ご来館の先着100名に、非売品ポストカードをプレゼントします。

日時：4月19日(土) 9:00～17:00

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日

14:00～ちひろ展/14:30～世界の絵本画家展または企画展
料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



●おはなしの会

絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみいただけます。

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30

会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋

料金：無料(入館料のみ) 対象：参加自由

(画像)撮影：橋本裕貴